

景観保全は生活闘争だ！

岩座神(いさりがみ)における
棚田保全活動と棚田オーナー制度
～楽しく暮らせる村をめざして～

兵庫県多可郡多可町加美区岩座神



© Google Earth, MAPION

ふもとの町

兵庫県多可郡多可町加美区
中国道滝野社ICから1時間
JR西脇市駅から45分



岩座神の入り口

この先に民家は無いだろう、と思われる所に「岩座神」の標識がある



棚田の中に住居がある

岩座神の棚田は、住居に近いところにあるのが一つの特徴



棚田を見おろす

「中道」からの景色
畦畔を改修する前



岩座神の棚田

- 標高 280m ~ 430m
- 傾斜 約1/6
- 総面積 11町歩(ha)
- 334筆 ... 300㎡/筆
- 寺勾配の石垣
- 高い所で 5~6m
- 住居と田圃が混在



岩座神の住民

- 約20戸
- 人口50人ぐらい
- 壮年層(40代、50代)の比率が高い
 - 高齢化率(65歳以上の比率)40%
 - 子供がほとんどいない
- みんな兼業農家
 - 会社員が8割、自営業が2割

岩座神の年間行事(1)

- 1月
 - 初詣(五霊神社・神光寺)
 - 初総会(住民総会)
 - 棚田オーナー 蕎麦打ち大会
- 2月
 - 害獣防止柵点検
- 3月
 - 春の宮普請(みやぶしん)(山林作業)
- 4月
 - 棚田オーナー 対面式

岩座神の年間行事(2)

- 5月
 - 棚田オーナー 田植え祭
- 6月
 - 棚田オーナー 草刈り・肥料散布
- 7月
 - 川刈り・道刈り(河川・道路の美化清掃)
 - 棚田オーナー 案山子祭
- 8月
 - 蕎麦種蒔き

岩座神の年間行事(3)

- 9月
 - 秋の宮普請(害獣防止柵の点検・山林作業)
 - 棚田オーナー 稲刈り・棚田の集い(コンサート)
- 10月
 - 秋祭
 - 棚田オーナー 脱穀・収穫祭
 - 蕎麦刈取り・脱穀
- 11月
 - 蕎麦選別・出荷
- 12月
 - 棚田オーナー 餅つき大会・わら細工教室

年間約20日、休日が潰れる！

- 行事への参加は(ほとんど)義務
 - 出ないと「出不足金」を取られるものもある
 - 出ないと白い目で見られる
- 区長と役員5人はもっと大変
 - 段取りを含めると40日?
 - 区長日誌では、何らかの用事があった日が65日
- 棚田オーナーの行事は年間8回
 - 蕎麦の種蒔き、収穫を手伝ってくれる人もある

4月 対面式



お互いに自己紹介
区画抽選
農業講演
区画かんばん作り



1997(平成9)年から開始
今年で11年目
今年16組
継続して参加する人が多い

5月 田植え祭



1区画100㎡を手で植える

昼食は、まぜご飯とBBQ(鶏肉)
まぜご飯は婦人会が作る

6月 草刈り・肥料散布



棚田オーナー行事の中で
一番地味な行事

(参加率が低い)

7月 川刈り・道刈り



川刈り=河川の草刈り
道刈り=道路端の草刈り

(村の労役、出ないと罰金)



暑いときの重労働
反省会だけが楽しみ

(過去には参加してくれたオー
ナーさんもいた)

7月 案山子祭



午前中は、田圃の草引き



マンネン草の挿し芽
(神戸大学のボランティア+
村の年長者)

田圃の草引きと同時進行

7月 案山子祭 アマゴ掴み取り



お昼の少し前、子供たちのた
めに、アマゴの掴み取りのイ
ベントをする



昼食は、アマゴの塩焼きとカ
レーライス

7月 案山子祭 かかし作り



昼食後、持ってきた材料を使って、かかしを作る
(あらかじめ家で作って持ってくる人もある)



作ったかかしを自分の区画に立てに行く

8月 蕎麦の種蒔き



休耕田1.5haに蕎麦を蒔く
トラクター2台、手押し種蒔き機4台を使用



かなりの重労働

手伝ってくれる棚田オーナーが、毎年、何組かある

9月 鹿柵(害獣防止柵)点検



イノシシ、シカ、タヌキから農作物を守るための金網の柵
村をぐるっと囲んでいる



これも景観の一要素

美しくないかも知れないが、生活には不可欠

9月 稲刈り



鎌を使って、手で稲を刈る
稲木にかけて天日干し



人手の少ない所は、他のグループが手伝う

午前中で作業は終る

9月 棚田の集い(1)



稲刈りのすんだ田圃に特設ステージを組んで、手作りのコンサート

わた菓子、ボン菓子、わらび餅なども



かつては、町が主催する「棚田コンサート」だった。
今では村が自前で開催。

9月 棚田の集い(2)



棚田オーナーの人たちによる寸劇、コーラス、一発芸



9月 棚田の集い(3)



これも棚田オーナーさん

韓国農村の民俗芸能
大阪から来ているグループ

だんじり囃子
西御影地車保存会の青年部



9月 棚田の集い 反省会



スタッフの「反省会」

何かという飲んで食って、遅くまで反省する

ここに見えているのが、「岩座神棚田保全推進協議会」の実態

40代、50代のコアなメンバー



10月 秋祭り



秋祭りは村中総出で準備する

宵宮に曳山車(ひきやま)の宮入りと餅まきがある



秋祭りが済むと、棚田オーナーの収穫祭

10月 収穫祭



天日で干した稲を脱穀する

(コンバインの脱穀機部分だけをを使う)



神戸大学のボランティアと村の年長者によるマンネン草の植栽

(収穫作業と同時進行)

10月 収穫祭 昼食



収穫作業がすんだら、全員で昼食をとる。

岩座神産コシヒカリのおにぎり
と豚汁。



案山子コンテスト
一人一票を投じる

賞品はお米 30kg, 20kg, 10kg

10月 蕎麦の収穫



蕎麦を刈り倒して、しばらく乾かした後、
かんじきで集めて、スレッシャー(脱穀機)にかけて、実を収穫する

手伝ってくれるオーナーさんもいる



この後、まだ、実を乾燥させて、選別して出荷する作業が残っている

11月 アストラゼネカ 棚田支援



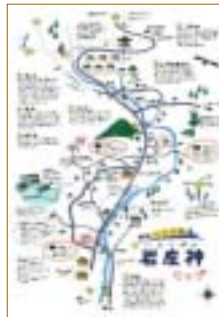
医薬品会社のアストラゼネカが、「高齢化する村を応援するプロジェクト」で岩座神に来てくれた。

草刈りしてもらった。



写真は2006年
今年も来てくれるそうだ

11月 神大農学部同窓会



岩座神イラスト・マップ

かつて津川先生といっしょに来ていた神大農学部のOBが岩座神に集って同窓会

イラスト・マップの作者もこの中にいる



12月 餅つき大会・わら細工教室



臼と杵で餅をつく

公会堂の中は、ついた餅をまるめる作業に使うので、外でやるしかない



餅つきの順番が来るまでは、わら細工教室で、正月の注連飾りを作る

村の二人の年長者が先生

1月 蕎麦打ち大会



岩座神でとれた蕎麦粉を使って、蕎麦打ち大会

講師はプロ級のアマチュア 棚田オーナーの縁で、毎年、手伝ってもらっている



公会堂の中は蕎麦打ちに使うので、釜場と食堂は屋外(ちょっと寒い)しかし、蕎麦は非常に旨い

(オーナーの参加者は少なめ)

3月 山林作業(枝打ち)



村所有の山林の手入れが、だいたい、年に二回ある

今回は、枝打ちをする
下草刈りや木苗植えに比べると楽な作業だ



なお、害獣防止柵点検が二月にあった。

再び言う、景観保全は生活闘争だ

- 文化的景観 ≠ 美しい景色
 - ≡ 手入れの行き届いた自然環境
 - ≡ 心豊かな暮らしを想起させる生活環境
- 生活が無くなれば、文化的景観は失われる
- 住民の力+公的支援
 - 住民の自治する力が必要
 - 公的な支援(金銭、人、情報)は不可欠